

第3回生命科学 阿波踊りシンポジウム

青木俊介 (九州工業大学 生命情報工学研究系)

タンパク質の構造情報を細胞制御へ応用する – *in silico*薬剤スクリーニング手法 –

諸根信弘 (京都大学 物質-細胞統合システム拠点 iCeMS)

フリーズエッチ電子顕微鏡法による細胞膜境界構造

田中 敦 (東京医科歯科大学 細胞生理学)

ミトコンドリアの品質維持機構とその破綻による疾患

上田泰己 (理化学研究所 発生・再生科学総合研究センター)

(徳島大学 疾患ゲノム研究センター・客員教授)

「時間」の生命科学

伝田香里 (東京大学薬学系研究科 生体異物学)

C型レクチンを発現するマクロファージ・樹状細胞による免疫応答の制御

永井重徳 (慶応義塾大学医学部 微生物学・免疫学)

感染免疫と宿主応答

坂根亜由子 (徳島大学HBS研究部 分子病態学)

細胞接着形成を制御する細胞内小胞輸送とアクチン細胞骨格系のクロストーク機構

奥本寛治 (九州大学理学部 生物科学)

ユビキチン化によるペルオキシソームタンパク質輸送の制御

2011年 8月16日(火) 9:30~15:30

徳島大学 疾患ゲノム研究センター 1階 交流ホール

なお、上田泰己先生のご講演は、大学院医科学教育部特別講義を兼ねています。

連絡先：岡崎(徳島大学疾患ゲノム研究センターゲノム機能分野 088-633-9158/tokazaki@genome.tokushima-u.ac.jp)

疾患ゲノム研究センター特別セミナー

日時：2011年8月16日（火）11時～12時30分

場所：疾患ゲノム研究センター 1F 交流ホール

「『時間』の生命科学」

上田 泰己

理化学研究所 発生・再生科学総合研究センター・チームリーダー
徳島大学 疾患ゲノム研究センター・客員教授

上田泰己博士は日本を代表する若手生命科学研究者であり、その御活躍ぶりは「情熱大陸」等でも取り上げられております。2005年より本大学疾患ゲノム研究センターの客員教授を兼任していただいております。今年度も、特別セミナーをしていただくことになりました。多数の方のご来聴をお待ちしております。

当日は別紙の通り午前9時30分から、細胞生物学、免疫学等の分野において活躍されている若手研究者によるシンポジウムを開催予定で、本特別セミナーはその一部として開催されます。他の研究者の講演にも、是非、お越し下さい。

なお、本セミナーは大学院医科学教育部特別講義を兼ねています。

参考文献：

Cell 144:268 (2011)

Annu Rev Physiol. 72:579 (2010)

Nat Genet. 38:312 (2006)

Nature. 452:317 (2008)

Nat Genet. 37:187 (2005)

Nat Cell Biol. 9:1327 (2007)

Nature. 418:534 (2002)

爆笑問題のニッポンの教養 (NHK、2007年12月11日)

情熱大陸 (毎日放送、2009年3月1日)

プロフェッショナル 仕事の流儀 (NHK、2010年2月16日)

問い合わせ先：

岡崎 拓 (疾患ゲノム研究センター、633-9158)